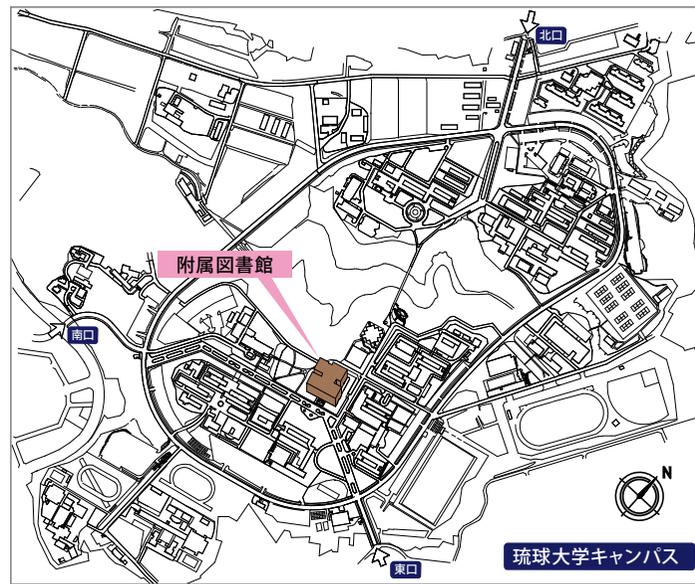


琉球大学 附属図書館 University of the Ryukyus Library



	附属図書館(旧館)改修	エレベーターシャフト増築
構造・階	鉄筋コンクリート造・3階	鉄骨造・3階
建築面積	3,066.64㎡	15.58㎡
延床面積	9,195.49㎡	46.74㎡
改修延床面積	6,384.61㎡	—
工期	平成27年7月～平成28年3月	
総工費	765,322千円	
主な仕上	《外装》 屋上:超速乾吹付ウレタン塗装(改修) 外壁:既設タイル補修(アンカーピン工法) 玄関エントランス部 アルミ意匠パネル張り 《内装》 床:タイルカーペット、ビニル床シート、ビニル床タイル 壁:合成樹脂エマルジョンペイント、壁紙、琉球石灰岩モザイクタイル 天井:ロックウール化粧吸音板、化粧石膏ボード	
設備	電気錠(カード式、テンキー式)、LED照明、人感センサー、昼光センサー制御、調光制御、個別・マルチパッケージ型空調機、恒温恒湿空調機、冷却機能付除湿機、冷却機能付除湿機、全熱交換機(CO ₂ センサー付)、自動制御設備(集中検針・警報監視・空調集中制御)、節水型衛生器具、不活性ガス消火設備、消火栓設備、多目的トイレ(オストメイト対応)、エレベーター(15人乗)1基増設、職員用駐車場7台、身障者駐車場1台	

基本設計 琉球大学 施設運営部
 実施設計 琉球大学 施設運営部
 建築(株)梓設計
 設備(株)テクノ工営
 施工 建築(株)善太郎組
 電気(株)三協電設(株)
 機械(株)テクノ工業

(作成:施設運営部)

トイレ(新館)

清潔感と華やかさをだし、リラックスできる空間に仕上げた(女子トイレにはパウダーコーナーを設置)。床材にはノンワックス仕様で防汚性・耐尿汚染性に優れた材料を採用することで、毎日のメンテナンスの向上をはかり、美観維持のしやすい仕様とした。



複層ガラス

窓ガラスは冷暖房効果を高める複層ガラスとした。南側と西側は更に遮熱効果の高いLow-E複層ガラスとし、夏場や西日の太陽熱を防ぐことで冷房負荷の削減を期待できる。また、紫外線をカットするので書物の退色防止にも効果的である。



外壁タイル

タイルの落下を事前に防ぐために浮き調査を行い、約990枚のタイルを補修した。アンカーピン工法の補修とすることで、外観の意匠を維持したまま補修を完了した。



建具カバー工法(発泡工法)

窓の改修(主に南面)は外観の意匠を損なわないカバー工法を採用した。それにより振動や騒音も抑えることができた。また、既設の枠と新設の枠にウレタン材を充填する発泡工法により、カバー工法の弱点である気密性・水密性を確保した。



バリアフリー対策

車椅子での利用のため、新たにEVと屋外スロープを増設した。トイレは各階にオストメイト対応の多目的トイレを設け、男女共におむつコーナーを設置した。中央階段は改修前よりも段差を小さくし、誘導の点字ブロックを整備した。



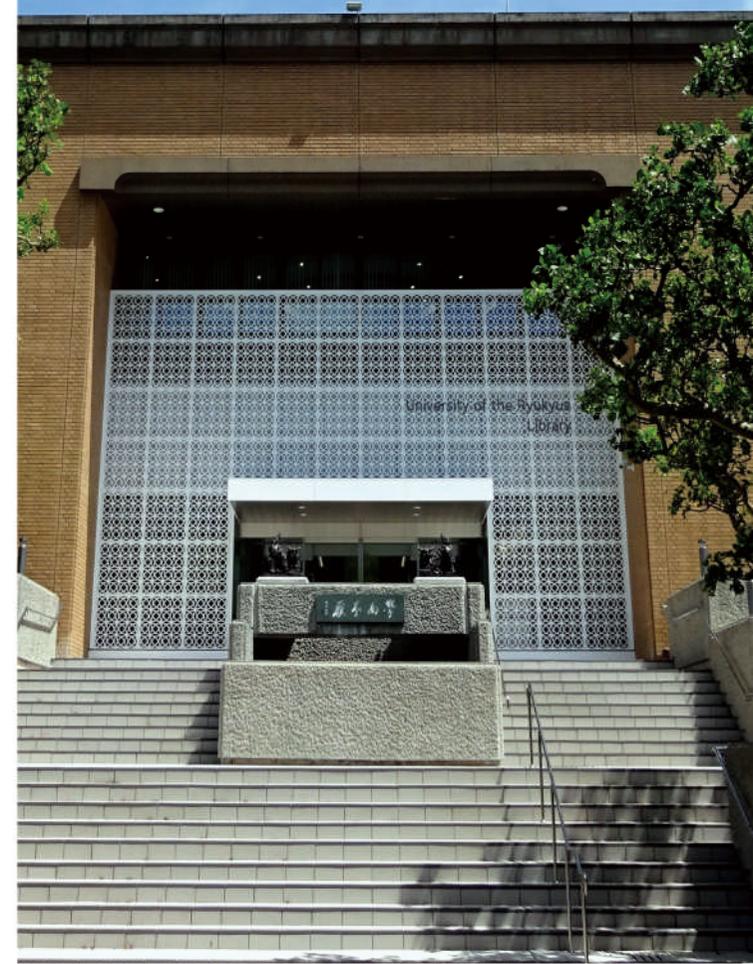
電氣的工夫

全照明LED機器を採用し(再使用器具は除く)、人感センサー・昼光制御・調光制御により長寿命化・省エネ・省コストを図った。また、受変電室内の改修工事を行い、変圧器を環境へ配慮したトップランナー制度適合品へ更新した。



機械的工夫

空調機の個別化・中央熱源の追従運転化などの改修を行い、空調負荷に対して最適な制御を行うことで、空調消費エネルギーの低減が可能となった。



琉球大学附属図書館

正面玄関には沖縄の建物でよく使われる花ブロックをイメージさせる七宝柄のアルミパネルを設置。ホール床と階段蹴上部分にも使用した。七宝柄は外部の人を図書館へ招き入れ、ホールで広がり、そして階段で各階へ人々を導く役割を持つ。ホールは琉球石灰岩やミンサー柄タイルなどで沖縄らしさを演出し、階段壁面にはガラスタイルを施した。図書館の威厳と高級感を感じさせる、明るい空間として生まれ変わった。



改修後

※七宝
絶えることのない永遠の連鎖と拡大を意味し、円満、調和の模様として親しまれている伝統的な吉祥文様。

改修前



A 1階ホール

工学部入江准教授デザインによる家具と色彩により、鮮やかな空間となった。同じく准教授デザインのグループラーニングルームと繋がる使い方を考えている。



改修内容

耐震補強を主とし、図書館の設備・機能を改善するための改修工事を行った。
耐震補強は1階と2階の計7ヶ所にラーニングルームと繋がる耐震ブレース、1階の柱2ヶ所に炭素繊維巻を施工した。

B ラーニング・commons (アクティブ・ラーニング・エリア)

プレゼンやグループ討論などの学習スタイルの変更に対応できるよう、間仕切りは設けず大空間とした。デザインガラスで区切り「見る・見られる」空間としホールから見せることで図書館の新しい「動的な空間」となる。
耐震性能を確保するために必要となるブレースは意匠性のある形状とし、露出したブレースが歩行の妨げとならないようベンチにすることでプレゼン時にも利用が出来る。
内装デザインはアクティブな赤色をベースとし、学生の能動的な行動が生まれる場となるように思いを込めた。



C/D 貴重資料室・沖縄開架閲覧室

琉球・沖縄の重要資料を収集・保管する貴重資料室に新たに収蔵庫を設置。外部に直接接しない、二重壁構造とした。照明設備は調光可能な紫外線を出さない光源とし、空調設備により温湿度を一定に維持できる。さらに、内装材には調湿建材を使用することで、空調のみに頼らない湿度環境を確保した。火災時は、ガス消火設備により周囲の資料を汚損することなく消火が可能になった。
貴重資料室に隣接する沖縄開架閲覧室には、花ブロックの出入口、琉球石灰岩の壁、ミンサー柄の隔てパネル・柱装飾などを取り入れ、沖縄の資料が集まる部屋にふさわしいデザインとした。内装イメージは沖縄の赤色。



上/沖縄開架閲覧室 左下/貴重資料室 右下/カウンター席



H 書庫

(右)本棚(一部書架共)残置のまま改修工事完了。



I 書庫

(左)貯蔵スペースを確保し、新しく集密書架を設置する。

★カウンター席

沖縄開架閲覧室(D)、閲覧室(E)、サイレントスタディールーム(F)、3階ホール(G)のカウンターには図書館で使用していた閲覧機の天板を再利用。以前の図書館の名残をとどめつつ、各部屋毎にデザインされた隔てパネルが、図書館の新しいアクセントとなる。

- ・沖縄開架閲覧室(D):ミンサー(沖縄の赤色)
- ・閲覧室(E):沖縄の珊瑚礁
- ・サイレントスタディールーム(F):沖縄の深海
- ・女性支援コーナー(G):沖縄の花



E 閲覧室

以前の図書館の雰囲気を感じられる空間とした。

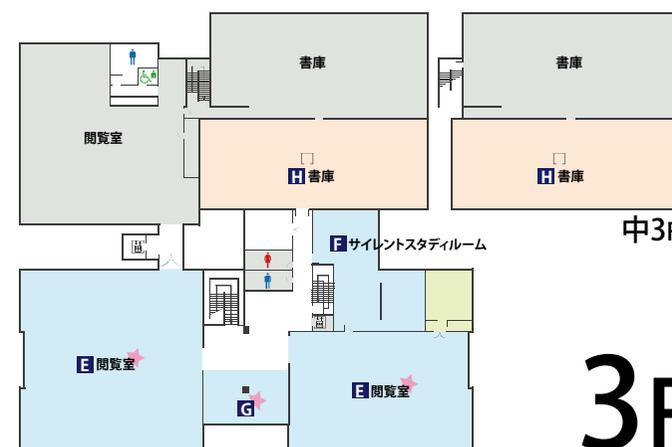


F サイレントスタディールーム

静かに学習する環境とするため、落ち着いた配色とした。他の閲覧室より大きいサイズ(幅1.2m)のカウンターを設置した。

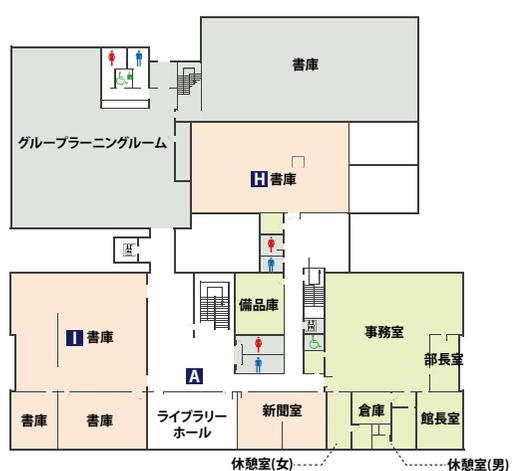
G 3階ホール

女性支援コーナーを設置する。



1F

- ラーニング・commons
- 閲覧エリア
- 書庫エリア
- 事務エリア
- 改修対象外エリア
- トイレ
- 多目的トイレ
- エレベーター
- 受付
- 貸出・返却
- 調査相談
- 沖縄資料室



2F

3F